

昭和三年 茨城縣統計書 第二編 學事ノ部

管 内 學 事 ノ 狀 況

總 說

本縣學事施設ノ狀況ハ大体從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之レカ發達進歩ヲ期シツ、アリト雖時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ要スル所アルヲ認メ初等教育、實業教育、師範教育、社會教育等夫々內容ノ刷新充實ヲ圖リ以テ其ノ實績ヲ收メムコトニ努メタリ即チ兒童ノ增加ニ伴ヒ土地ノ事情ト市町村財政トヲ參照シ教育資金ノ貸付基本財產ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築等着々設備ノ改善ヲ圖リツ、アリ更ニ初等教育ノ普及發達並ニ其ノ內容改善ノ基調タル師範學校ヲ擴張シ又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シテ資格ノ向上ト學力技能ノ修練トニ便セリ而シテ之カ監督指導ヲ周到ナラシムル爲ニハ學事指導員ヲ嘱託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並ニ年功加俸ノ增加、住宅料疾病療治料ノ給與功勞者ノ表彰等ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ擧ケムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラムカ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵スルト共ニ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ又青年團ニ就テハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ內務文部兩大臣ノ訓令ニ依リ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト體育ノ向上トナ圖リ日進ノ大勢ニ遅レサラムコトヲ期シツ、アリ尙補習教育ノ發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムカ爲各地ニ青年幹部講習會處女會指導者講習會等ヲ開催シ以テ其ノ歸趨ヲ過ラシメサラムコトヲ期セリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交涉ヲ密接ナラシメ互ニ裨益提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ又視學打合會、小學校長會議ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示協議ヲ行ヒ漏れ遺漏ナカラシムルコトヲ期シタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレハ次ノ如シ

縣 令

- 縣立水戸商業學校學則中改正 (昭和三年四月二日)
(縣令第四二號)
- 縣立下館商業學校學則中改正 (昭和三年四月二日)
(縣令第四三號)
- 縣立真壁農學校學則中改正 (昭和三年十一月十三日)
(縣令第七二號)
- 兒童就學獎勵規程中改正 (昭和三年十二月二十一日)
(縣令第七四號)
- 師範學校學則中改正 (昭和四年二月十九日)
(縣令第五號)

縣立中學校學則中改正（昭和四年三月十二日）
（縣令第九號）
縣立高等女學校學則中改正（昭和四年三月十二日）
（縣令第一〇號）
小學校令施行規則實施規程中改正（昭和四年二月五日）
（縣令第四號）

訓 令

視學官視學普通學事視察規程（昭和三年十一月六日）
（縣訓令甲第一九號）
學事年報取調條項及諸表報告規程（昭和四年一月八日）
（縣訓令甲第一號）
實業補習教育主事職務規程（昭和四年一月十一日）
（縣訓令甲第二號）
就學前兒童身體檢查規程（昭和四年二月八日）
（縣訓令甲第四號）
學校職員忌服及父母祭日休務規程（昭和四年二月二十二日）
（縣訓令甲第五號）

告 示

那珂郡齋鄉村小學校分教場位置變更（昭和三年四月十六日）
（告示第一九一號）
松原實科高等女學校位置指定（昭和三年四月十六日）
（告示第一九二號）
松原實科高等女學校授業料額（昭和三年四月十六日）
（告示第一九三號）
真壁郡下館町立青年訓練所位置變更（昭和三年四月二十三日）
（告示第二〇三號）
多賀郡松岡村立青年訓練所名稱變更（昭和三年四月三十日）
（告示第二一七號）
筑波郡島名村青年訓練所合併（昭和三年八月十日）
（告示第四二〇號）
青年訓練所職員及訓練生徽章制定（昭和三年八月二十一日）
（告示第四三五號）
新治郡葦穂村青年訓練所合併（昭和三年八月二十一日）
（告示第四三六號）
東茨城郡澤山村小學校合併（昭和三年十月二日）
（告示第四九二號）
久慈郡金鄉小學校併合並位置變更（昭和三年十月二日）
（告示第五〇〇號）
行方郡小高村小學校敷地變更指定（昭和三年十一月九日）
（告示第五七〇號）
北相馬郡守谷小學校位置變更（昭和三年十二月十一日）
（告示第六一〇號）
兒童就學獎勵基金管理規則中改正（昭和三年十二月二十一日）
（告示第六三三號）
男女青年團體事業獎勵金管理規則改正（昭和三年十二月二十一日）
（告示第六三九號）
結城農學校校名變更（昭和四年三月八日）
（告示第一二三三號）
久慈郡上小川小學校位置變更（昭和三年三月八日）
（告示第一一二四號）
縣立麻生中學校設置（昭和三年三月十二日）
（告示第一三一號）

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ二十七萬五千八百九十五人内男十三萬九千十一人女十三萬六千八百八十四人ニシテ前年度ニ比スレハ男千四百五十六人女千八百三十八人ヲ增加セリ而シテ就學兒童總數ハ二十三萬六千八百十六人ニシテ之レヲ前年度ニ比レハ男千五百五十二人女千六百六十人ヲ增加シタリ就學始期ニ達シタル學令兒童ニ對スル就學

歩合ヲ觀レハ男九十九人五分八厘女九十九人二分七厘平均九十九人四分三厘ニシテ前年度ニ比シ男ニ於テ三厘女ニ於テ二厘平均三厘ヲ增加シタリ就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ニ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學校職員、學務委員ヲ督勵シテ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會及市町村教育會ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事スル等各種機關ヲ通シ之カ實行ニ努メツ、アリ就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノハ大部分ハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ニ因ル者殆ント無ク之等貧困兒童ノ救濟ニ關シテハ兒童獎勵規程ニ依リ相當之力救濟ノ方法ヲ講シ努メテ就學出席ノ獎勵ナシツ、アリ

學齡兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ派シ學齡簿學籍簿其ノ他就學事務ノ檢閱ヲ行ヒ指示注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際トノ一致ヲ圖ラム様努メツ、アリ小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノ、內師範學校附屬小學校ニ於テ修業スルモノハ男二百六十九人女二百八十三人ナリ

小 學 校

小學校數ハ市町村立尋常小學校百四十四校分教場五校尋常高等小學校三百九十四校分教場百十五校計六百五十八校ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ尋常小學校ニ於テ三校減シタルモ尋常高等小學校分教場ニ於テ三校增加セシニ依リ同數ナリ學校ノ設備ニ在リテハ數年來ヨリ督勵ノ結果漸次整備ノ域ニ達セントシツ、アルモ逐年兒童增加スルヲ以テ校舍ノ増改築、校地ノ擴張ヲ要スルモノ尙渺カラス

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千十七級高等科八百八十六級補習科一學級計四千九百四級ニシテ前年度ニ比スレハ百十九學級ヲ增加シタリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ三十六學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞キ高等科ハ單級ヨリ十八學級ノモノニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ單級ノモノ之ニ亞ケリ又制限超過編成ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十五學級ニ校二十八學級ニ校二十九學級ニ校三十一學級ニ校三十三學級ニ校三十六學級一校三十七學級一校四十一學級一校四十二學級一校ナリ

學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニアリ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地ニ在リテハ分教場ヲ設置セシメ又通學道路ノ改修ヲナサシメツ、アルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナキヲ以テ特記スヘキ事項無シ

加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ六十一校分教場一校計六十二校尋常高等小學校ニ於テ尋常、高等兩科ニ手工、英語ヲ課スルモノ十一校尋常科ノミニ手工ヲ課スルモノ二百三十一校分教場二十六校、高等科ニ英語ヲ課スルモノ七校合計三百三十七校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ內容ノ改善ヲ圖リツ、アリ

授業料ニ於テハ尋常科ハ徵收セサル方針ナルモ市町村財政上止ムヲ得ス徵收スル學校ハ尋常小學校四校尋常高等小學校尋常科ニ於テ二校計六校ナレトモ貧困者ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ講シツ、アルヲ以テ義務教育普及上別段ノ支障ヲ認メス

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セハ次ノ如シ

學級數	男女別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員充實歩合
4,903	男	3,001	169	405	354	3,929	
	女	871	395	71	228	1,565	78,97
	計	3,872	564	476	582	5,494	

右表ノ如ク本科正教員ハ三千八百七十二人ニシテ學級數四千九百三ニ比スレハ百學級ニ對シ七八八人九分七厘ノ配置ニ當ル、而シテ教員ノ不足並ニ其ノ質ノ良否カ兒童教育上ニ及ボス影響甚大ナルヲ以テ前述シタル如ク師範學校ノ擴張ヲナシ向フ五ヶ年間後ニハ本科正教員充實歩合百ニ對スル八十パーセントニ達セシムヘク之カ實施ニ着手ツヽアリ更ニ應急策トシテ縣教育會ヲシテ中等學校卒業者ノ爲メ本科正教員養成講習會ヲ開催セシメ試験ノ上尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ授與シタルト又毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ其ノ資格ヲ向上セシメ以テ需用供給ノ圓滑ヲ計リツヽアリ

教員ノ任免ニ就テハ特ニ慎重ニシ可成動績ヲ獎勵シ一面ニ於テハ市町村ヲシテ義務教育國庫負擔金ノ大部分ヲ以テ教員ノ俸給ニ充當セシメ以テ待遇ノ向上ヲ圖リ尙住宅施設住宅料、賃借料等經濟ノ許ス限リ優遇ノ方法ヲ講セシメツヽアリ

幼稚園

幼稚園ハ公立七、私立十、計十七園ニシテ前年度ニ比シ増減ナキモ、私立中、一園廢止シ一園設置アリタリ而シテ其ノ設備ハ之カ改善ニ努力申ニアルヲ以テ稍完備セラレ幼兒男六百二十人女六百五十人ヲ収容シ保姆有資格二十一名無資格二十四名ニシテ保姆一人ニ對シ保育幼兒平均二十八名ニ當ル入園志願者ハ逐年增加ノ傾向ニシテ又保育ノ狀況概シテ良好ナル成績ヲ收メツヽアリ

師範學校

師範學校ハ縣立ニ校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ逐年完備ヲ期シツヽアルモ校具器械標本等ハ舊式ニ屬スルモノ多ク專攻科設置ノ關係上改善ヲ要スルモノ歟カラズ教員ノ需要供給轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就キ略記スルニ教員ノ多クハ勤續多年ニ亘ルト雖本年度内ニ於ケル異動ハ轉任者八名退職者二名休職者一名ナリ俸給平均額ハ男師本科百二十圓專攻科百八十四圓訓導七十五圓女師本科百十一圓專攻科百六十五圓訓導七十三圓ニシテ待遇ノ途モ漸次改善向上セラレツヽアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格 教 員	計				
	高等師範學校又ハ女子成所又ハ實業教員養成校卒業			官立大學生校卒業			私立大學生校卒業			專門學校卒業			實業專門學校卒業		其ノ他經歷ニ依ル者		試験検定ニ依ルモノ	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
天城縣師範學校	13	—	2	—	4	—	1	—	3	—	—	—	4	—	5	—	32	—
																△ 5	× 1	—
天城縣女子師範學校	7	4	3	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	2	—	13	7
																△ 3	△ 1	9
計	20	4	5	1	5	—	1	—	3	1	—	—	4	1	7	—	45	7
																△ 8	△ 1	9
																△ 1	△ 1	45
																△ 8	△ 1	9
																△ 1	△ 1	45

×印ハ兼務者 △印嘱託講師

生徒訓育ノ状況ハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ニ基キ大体前年度來ノ方針ニ則リ特ニ學校長ハ必要ニ應シ隨時訓話ヲ行ヒ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タルノ品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且体育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身体ノ鍛練ト健康ノ増進トヲ圖リツ、アリ生徒教練ニ關シテハ本科第一部第五學年同第二部生徒ノ夏季二週間第四學年生徒ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ制シ其ノ成績特ニ顯著ナルヲ認メタリ

生徒ノ學業ニ就テハ生徒ヲシテ自學自習ニ努メシメ且ツ寄宿舎圖書館等ヲ利用セシメ又實驗實習ヲ重ンシ課程ノ外實地見學ヲナサシメ實際的智識ノ收得ニ努ムル様指導シタル結果學業ノ成績モ漸次進歩ノ状況ナリ

生徒ノ修學旅行ハ地理、歴史、理化ニ關スル實地踏査博物採取又ハ參觀ノ目的ヲ以テ關東、關西、北陸方面其ノ他縣内各所ヘ旅行セシメ豫定ノ目的ヲ達シ少カラザル効果ヲ收メタリ入學志願者ハ千五百四十二人ニシテ前年ニ比シ四百二十二人ノ激増ヲ見タリ之レカ入學率ハ二十四人強ノ状況ニアリ大正十三年以降ノ入學志願者ヲ示セハ次ノ如シ

	大正十三年度	全十四年度	全十五年度	昭和二年度	全三年度
師範學校	第一部 370	658	461	490	543
	第二部 109	163	245	227	432
	專政科 —	—	33	67	56
女子師範學校	第一部 376	495	266	247	378
	第二部 103	157	69	78	123
	專政科 —	—	25	11	10
計	第一部 746	1,153	727	737	921
	第二部 212	320	314	305	555
	專政科 —	—	58	78	66

尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交 通 業	公 务 自由業	其ノ他ノ有業者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣師範學校	第一部 75	—	—	4	20	—	17	—	—	4	120
	第二部 55	—	—	1	7	—	10	—	—	7	80
	專攻科 29	—	—	—	5	—	7	—	—	5	46
全女子師範學校	第一部 33	—	2	3	16	—	21	—	—	4	79
	第二部 15	—	—	—	2	—	18	1	—	2	38
	專攻科 5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	10
合 計	第一部 108	—	2	7	36	—	38	—	—	8	199
	第二部 70	—	—	1	9	—	28	1	—	9	118
	專攻科 34	—	—	—	5	—	12	—	—	5	56

本年度卒業者ハ師範學校本科第一部一〇三人第二部八〇人専攻科四三人女子師範學校第一部七六人第二部三四人専攻科一〇人ニシテ就レモ縣下各小學校ニ就職シタリ附屬小學校ハ二校、村立小學校ヲ代用附屬小學校トシタルモノ一校ニシテ其ノ設備略備ハレリ兒童ノ教養ニ關シテハ大体從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシ智識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學的態度ヲ馴致教育成スルコトニ努メ以テ教授學習ノ徹底ヲ期セリ尙教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ學校ト家庭トノ連絡ニ就キテハ雑誌ヲ發行スル等協力的ニ兒童ノ教養ノ効果ヲ高ムルコトニ努メツヽアリ又地方諸會ノ招聘ニ應シ主事及訓導ハ講話或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來觀スルモノ一層增加ノ傾向ニアリ尙縣下小學校聯合研究會ヲ女子師範學校及其ノ他ノ學校ニ開催シ公民教育体操科及成績考査個性尊重適性指導等ニ關シ共同研究ヲ遂ケタリ

中 學 校

中學校ハ前年度ニ於テハ九校ナリシカ本年新ニ麻生中學校ヲ増設シタリ各校共設備ニ至リテハ教育ノ普及ニ伴ヒ學級モ増加スヘキヲ以テ校舍寄宿舎ノ增改築ヲ要スルモノ又教具校具ノ設備不充分ナルモノアルヲ以テ着々之カ整備充實ヲ圖リツヽアリ有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別人員ヲ擧クレハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格 教員	總 計									
	高等師範學 校又ハ女子 高等師範學 校卒業		臨時教員養 成所又ハ實 業教員養成 所卒業		無試驗檢定ニ依ルモノ																		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女									
茨城縣立水戸中學校	2 × 1	—	2	—	△ 1	—	2	—	6	—	—	1	—	△ 1	—	25 × 1	—	4 × 1	—	△ 2 × 1	—	29 22	
茨城縣立太田中學校	—	2	—	2	—	3	—	4	—	1	—	2	—	△ 1	—	5 × 1	—	3 × 1	—	△ 1 × 1	—	19 1	
茨城縣立土浦中學校	2 × 1	—	1	—	1	—	5	—	2	—	1	—	2	—	× 1	—	5 × 1	—	19 21	—	21 2		
茨城縣立龍ヶ崎中學校	6 × 1	—	1	—	—	—	—	5	—	1	—	2	—	△ 1	—	6 × 1	—	—	—	△ 1 2	—	20 22	
茨城縣立下妻中學校	—	—	2	—	× 1	—	3	—	7	—	1	—	—	—	△ 1	—	7 × 1	—	2 × 1	—	△ 1 1	—	22 1

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格 教員	總計				
	高等師範學 校又ハ女子 高等師範學 校卒業		臨時教員養 成所又ハ實 業教員養成 所卒業		官立大 學校卒 業		公私立 大學校 卒業		專門學 校卒業		實業專 門學校 卒業		其ノ他 經歷ニ 依ル者					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
茨城縣立水海道中學校	4	-	2	-	-	2	-	1	-	1	-	1	-	7	-	18	20	
	X 1					△1								△1	-	△2	△3	
														×1		×1		
茨城縣立鉢田中學校	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	14	14	
	X 1													△1	-	△1	△1	
														×△1		×1		
茨城縣立日立中學校	4	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	12	12	
	X 1													△1	-	△1	△1	
														×1		×2		
茨城縣立境中學校	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	△1	4	
	X 1													△1	-	△1	△1	
														×1		△1	△1	
茨城縣立麻生中學校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
私立茨城中學校	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	3	-	9	1	10	
					△1	-	1	-	△1	-	-	-	△2	-	△1	△3		
計	25	-	17	-	8	-	17	-	26	-	5	-	9	-	54	161	13	174
	X 8				△1	-	△1	-	△1	-	△1	-	△1	-	△6	△4	△10	
					×1									△1	△11	△2	△11	△6
														×△1				

×印ハ兼務者 △印ハ講師

教員ノ需要供給勤績轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ異動者他學校ニ比シ稍永年勤績スルモノ妙キ感アルモ之カ待遇ニ於テハ年々幾分向上シツ、アルヲ以テ教員ノ不足ハ昨今稍緩和セラレタリ本年度俸給平均額ハ百二十圓年功加俸百二十圓乃至百六十八圓ニシテ待遇ノ途ヲ講シツ、アリ

生徒ノ訓育ニ就チハ從來ノ方針ニ則リ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ノ涵養、道德ノ實踐ヲ督勵シ思想善導ニ就キテハ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ各教科ト家庭トノ連絡ヲ計リ批判教授ヲナス等遺憾ナキヲ期シツ、アリ

生徒ノ教練ニ關シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メルヲ以テ教練振興ト共ニ生徒訓育上多大ノ効果ヲ收メタルモノト認ム生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ且自學自習ノ習慣ヲ養成シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵シ又ハ夏季冬季ノ休暇中ニ特別教授ヲナシ學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲ行フ等學力ノ向上ニ勉メ又体育獎勵ニ就テハ常ニ意ヲ用ヒ身體ノ圓滿ナル發達ト天賦ノ活動ヲ發揮セシメ協同一致ノ精神ト規律ノ嚴正ヲ養成ニ努メ相當効果ヲ收メタルモノト認ム

生徒ノ修學旅行ニ就テハ地理、歴史、理科等ノ實地研究観察ノ目的ト精神並身體ノ鍛練ニ努メ關東、關西、北陸、奥羽ノ各地方ニ旅行セシメ其ノ効果ヲ擧ケシムルコトニ努メタリ

入學志願者ハ本年度二千四百六十六人前年度ニ比シ百七十五人減シタリ之レカ入學率ハ五十二人ニシテ大正十三年以降ノ入學志願者ヲ示セハ次ノ如シ

	大正十三年	全十四年	全十五年	昭和二年	全三年
学科	2,471	2,462	2,445	2,641	2,466

入學父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交 通 業	公 自 務	其 他 / 有 業 者	家 使 用 事 人	無 職 業	計
茨城縣立水戸中學校	51 * 3 △ 1	1	—	16 * 1	34 * 1	1	86 * 12 △ 1	—	—	18	207 * 17 △ 2
全 太 田 中 學 校	81 △ 2	—	—	6 * 1	27	—	36 * 1 △ 1	—	—	4	154 * 2 △ 3
全 土 浦 中 學 校	69 * 1 △ 1	—	—	8	26	1	39 * 1 24	8	1	7 * 2	159 * 4 △ 1
全 下 妻 中 學 校	94 * 2	—	—	18 △ 2	18 * 1	2	24 * 5 △ 2	—	—	3	159 * 8 △ 4
全 龍ヶ崎中學校	85 * 2	—	2	13	22	1	31 * 1	—	—	4 * 1	158 * 2 △ 2
全 水 海 道 中 學 校	84 * 1 △ 1	—	—	4 * 1	21 1	4	22 * 1	2	—	3	140 * 3 △ 1
全 銚 田 中 學 校	72	—	—	3	8	—	16	—	—	* 1 1	100 * 1
全 日 立 中 學 校	23	2	11	16	19 * 1	—	24 * 1 5	5	—	2	102 * 1 6
全 境 中 學 校	70	—	—	2	14	1	17	—	—	—	101
全 麻 生 中 學 校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立 茨 城 中 學 校	31 ○ 4	—	—	○ 4 2	27 ○ 2	—	40 ○ 3 * 2	—	3	○ 5 * 2 1	110 * 1 3
計	660 * 9 △ 5 ○ 4	3	13 * 2 △ 2 ○ 2	90 * 4 2	216 * 4 2	10	335 * 3 * 27 △ 4 ○ 3	15	4	47 * 1 4 2 ○	1,393 * 4 46 11 12

×印ハ第一學年入學者 *印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者

△印ハ全上ニ係ル再入學者 ○印ハ編入學者

私立中學校一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ昭和二年二月二十八日認可後銳意之カ整備充實ヲ圖リツ、アリ生徒訓育ニ關シテハ水戸學ノ精神ヲ經トシ創立者飯村丈三郎氏ノ報恩感謝ノ精神ヲ緯トシテ訓育ニ努メ相當ノ成績ヲ擧ケツ、アリ學業ノ進否ハ創立日尙淺ク十分ノ進境ヲ見ル能ハサレトモ相當ノ進歩ヲ認ム入學志願者ハ二百四十三名ニ達シ内百十名ヲ入學セシメタリ生徒訓練ニ就テハ配屬將校大ニ注意ヲ拂ヒ着々計畫ヲ進メ善良ナル校風ノ樹立ニ努メツ、アリ

高 等 女 學 校

高等女學校ハ縣立六校市立一校私立一校實科高等女學校ハ町立四校組合立三校ニシテ其ノ設備ハ縣立ニフリテハ逐年整備セラレツ、アルモ其ノ他ノ學校ニアリテハ充

分ナラサルモ漸次改善充實ノ機運ニ向ヒツヽアリ

有資格教員ノ免許状ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員															無資格 教員	總 計			
	高等師範學 校又ハ女子 高等師範學 校卒業		臨時教員養 成所又ハ實 業教育員養成 所卒業		官立大 學校卒業		公私立 大學校卒業		專門學 校卒業		實業專 門學校卒業		其ノ他 經歴者 依ル者		試驗定 定三依ルモ ノ		試驗定 定三依ルモ ノ			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣立水戸 高等女學校	2	7	1	1	—	—	—	—	1	—	5	4	2	1	10	1	1	10	15	
茨城縣立土浦 高等女學校	2	*1	5	1	2	1	—	—	1	1	—	1	3	△	4	10	—	—	10	15
茨城縣立下館 高等女學校	1	*1	1	1	—	1	—	—	2	△1	4	—	2	△	1	15	—	—	△1	15
茨城縣立水海道 高等女學校	1	2	—	—	2	*1	—	2	—	—	3	—	—	1	1	6	1	6	1	7
茨城縣立龍ヶ崎 高等女學校	—	2	2	1	2	—	1	—	—	—	—	3	*△1	1	1	6	7	1	7	
茨城縣立太田 高等女學校	*1	3	1	—	—	1	—	—	1	—	—	2	—	*△1	1	4	—	2	*1	6
茨城縣水戸市立 高等女學校	1	1	1	△1	—	—	—	—	4	—	—	—	*1	—	1	5	5	1	5	
私立東海 高等女學校	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	*2	—	2	2	—	1	2	
計	7	*4	22	7	4	6	*1	—	4	—	△1	13	—	2	6	12	△1	49	44	
茨城縣石岡實科 高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—	1	1	3	*△2	1	3	
茨城縣鉢田實科 高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	*1	1	2	*△1	2	1		
茨城縣古河實科 高等女學校	—	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	3	*△3	3		
茨城縣下妻實科 高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—	1	3	*△3	2			
茨城縣取手實科 高等女學校	—	—	—	1	—	—	—	—	1	3	—	—	2	—	3	4	—	3		
茨城縣岩井實科 高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	△1	—	1	1	△2	1		
茨城縣笠原實科 高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1	—	—	1		
計	—	2	—	1	1	—	—	—	2	2	1	6	1	4	△1	5	10	7	19	

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格 教員	總 計									
	高等師範學 校又ハ女子 高等師範學 校卒業		臨時教員養 成所又ハ實 業教員養成 所卒業		官立大 學校卒業		公私立 大學校 卒業		專門學 校卒業		實業專 門學校 卒業		其ノ他 經歷ニ 依ル者		無資格 教員	總 計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女									
合 計	7	*4	24	7	5	7	—	4	—	6	15	1	8	7	16	△3 *5 *△2	20 11 *△2	59 *10 *△2	×11 △1 *12	3 79 *11	62 △5 *12	△9 *11 *△1	85

*印ハ兼務者 ×印ハ本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者 △印ハ講師

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ大体ニ於テ師範學校中學校ニ記述セシ如クニシテ特記スヘキモノナシ

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ依リ家庭トノ連絡ヲ保チ生徒ノ道徳意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ修養ニ努メ思想善導ニ留意シ一面溫良貞淑志操堅實ニシテ良妻賢母主義ノ婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツ、アリ

生往學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解更ニ有效ナル陶冶ヲ育成セムトシテ自學自習ノ風ヲ馴致シ熱心真摯ナル研究的態度ノ養成ニ努メ自由研究讀書發表會等ヲ開催スルノ結果學業ノ進歩モ又一般ニ良好ニ進ミツ、アリ

入學志願者ハ逐年增加ノ傾向ヲ示シ本年募集人員一千三百八十五人ニ對シ入學志願者二千五百八十三人ノ多キニ達シ入學率五十三人強ナリ尙本年度入學者父兄ノ職業別ヲ示セハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水產業	礦 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自 由 業	其 ノ 他 ノ 有 業 者	家 事 使 用 人	無 職 業	計	
茨城縣立水戸高等女學校	32 *2	3	1	△1	17 1	60	7 1	59 8	12	—	22 *6	21 *△1
茨城縣立土浦高等女學校	80	1	—	20	60	2	× *3	46 3	—	—	15	22 *△
茨城縣立下館高等女學校	70 *2	—	—	9	29 *2	—	× *4	33 4	1	—	8	15 *10
茨城縣立水海道高等女學校	57	—	—	4	23	—	× *3	15 1	—	—	3	10 *8
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	65 *2	—	—	4	19	—	× *1	16 1	—	—	1	10 *8
茨城縣立太田高等女學校	48	—	—	9	17	—	×	21 1	—	3	5	10 *8
茨城縣水戸市立高等女學校	28	—	—	7	40 1	5 1	× *	28 2	—	—	—	12 *13
私立東海高等女學校	○12 *13	○1	○5	○27	○19	○16	○2	○6 5	—	○2	○2	○*

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交 通 業	公 務 自 由 業	其 他 有 業 者	家 事 使 用 人	無職業	計
計	* 392 ○ 8 ○ 13	○ 4 ○ 1	○ 4 ○ 5	△ ○ 97 ○ 1 ○ 19	× 258 ○ 1 ○ 16	* 14 ○ 2 ○ 2	× 224 ○ 6 ○ 21 ○ 1 ○ 5	13	3 * ○	67 × 1 ○ 10 ○ 2	1,076 × 8 * 43 ○ 2 ○ 63
茨城縣石岡實科高等女學校	20	—	—	7	12	2	* 11 ○ 1	—	—	—	52 * 1
茨城縣鉢田實科高等女學校	補 35 補 3	—	—	2	10	1	2	—	—	2	補 52 補 3
茨城縣古河實科高等女學校	15	—	—	5	22	—	9	—	—	—	51
茨城縣下妻實科高等女學校	34	—	—	1	15	—	* 9 ○ 1	—	—	1	* 60 ○ 1
茨城縣取手實科高等女學校	* 40 * 1 * 2	—	—	7	5	1	4	—	—	2	* 59 × 1 * 2
茨城縣岩井實科高等女學校	補 10 補 9	—	—	—	補 3	—	補 6 ○ 1	—	—	—	補 24 ○ 13
松原實科高等女學校	20	1	5	3	20	2	7	—	—	2	60
私立東海高等女學科校(實)	12	—	1	14	5	—	6	2	—	1	41
計	* 186 * 1 * 2 補 12	1	6	39	補 97 ○ 3	6 * 補	54 ○ 2 ○ 1	2	—	8 * ○ 4 補 16	399
合 計	* 578 * 1 * 10 ○ 13 ○ 12	○ 5 ○ 1	○ 10 ○ 5	△ ○ 136 ○ 1 ○ 19 ○ 3 ○ 补	× 355 ○ 1 ○ 16 ○ 3	* 20 ○ 2 ○ 2	× 278 ○ 6 ○ 23 ○ 1 ○ 5 ○ 补	15	3 * ○ 10 ○ 2	75 × 1 ○ 10 ○ 2	1,475 × 9 * 47 ○ 2 ○ 63 ○ 补 16

×印ハ第一學年轉入學者 *印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者

△印ハ全上ニ係ル再入學者 ○印ハ編入學ヲ許可シタル者補印ハ補缺入學者

私立東海高等女學校ハ本年新ニ設立セラレタルモノニシテ本科及實科ヲ置キ設備狀況ニアリテハ整備セルト認メサルモ銳意之カ充實テ圖リツ、アリ生徒訓育ニ關シテモ一般公立女學校ト同シクシテ生徒ノ退學者等モ無ク學業ノ進歩モ相當ト認メラ入學志願者ハ本科百二十八名實科四十三名ノ多キニ達シ校風ノ樹立ニ努メツ、アリ

實 業 學 校

實業學校ハ總數十八校ニシテ工業學校ノ縣立一校農學校ノ縣立八校町村立二校商業學校ノ縣立二校町村立二校職業學校ニ屬スル技藝學校町村立三校アリ之ヲ前年ニ對比スレハ校數ニ於テ増減ナキモ下館商業學校ノ町立ヨリ縣立ニ移管セラレ各校共設備ノ改善ニ努メツ、アルヲ以テ稍完備セルモ尙設備ノ急チ要スルモノ少カナル狀況ニアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員			總 計					
	學 位 有 者 ス ル 者	大學卒業 又ハ學士 ト得者		文部 大臣 指 定 者		文部大 臣ノ認 可シダ ル者		教員免許 令ニ依リ 教員免許狀 ヲ有スルモノ		計	公立私立實業學 校教員資格ニ關 スル規程第九條 ニ依ル者		其 他						
		男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女					
		男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女					
茨城縣立工業學校	—	—	1	—	△ * 1	—	—	—	15	—	—	4	—	△ * 1	—	△ * 1	19	19	
全 水戸農學校	—	—	1	—	* 10	—	1	—	5	—	* 17	—	—	5	—	22	—	22	
全 石岡農學校	—	—	2	—	* 1	—	5	—	—	—	9	—	—	1	—	10	—	10	
結城郡町立結城農學校	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	* 1	—	—	—	—	7	—	7	
茨城縣立笠間農學校	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	* 1	—	2	5	—	6	—	6	
全 大子農學校	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	* 1	—	—	4	6	—	6	—	6
全 鹿島農學校	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	2	—	—	5	—	5	—	5	
全 江戸崎農學校	—	—	△ 1	—	6	—	—	* 1	—	△ 1	—	* 1	—	—	—	10	—	10	
全 真壁農學校	—	—	—	—	—	—	—	* 1	—	△ 2	—	△ 1	—	7	—	9	—	9	
全 取手農學校	—	—	1	—	1	—	—	—	9	—	11	—	—	—	△ 1	—	11	—	11
茨城縣小瀬農學校	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	4	—	1	1	—	5	—	6	
農學校 合計	—	—	△ 1 * 1	—	30	—	3	—	44	—	82	—	2	1	7	—	91	—	92
茨城縣立水戸商業學校	—	—	1	—	△ 1 * 1 * △1	—	—	—	6	—	△ 2 * 1	—	—	—	3	—	△ 2 * 1 * △1	—	△ 2 * △1
茨城縣湊商業學校	—	—	—	—	—	—	* 3	—	* △1	—	* △4	—	1	—	1	—	10	—	10
茨城縣立下館商業學校	—	—	—	—	* 11	—	—	—	2	—	* 1	—	—	—	△ 1	—	13	—	13
茨城縣古河商業學校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	3	—	—	—	5	—	5
商業學校 合計	—	—	1	—	△ 1 * 2 * △1	—	23	—	* 2 * △3 * △1	—	△ 1 * △1 * △5	—	16	—	42	—	4	—	50
久慈郡大子女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	* 1	—	△ 1	—	△ 1 * 1	—	△ 1 * 1
行方郡潮來町立女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	△ 1	—	△ 1 * 1	—	△ 1 * 3
結城郡結城女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	3	—	—	△ 2	—	△ 2	—	△ 2
職業學校 合計	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	5	—	7	* 1	—	△ 4 * 1	—	△ 4 * 1	

* 印 → 兼務者 △ 印 → 講師

農學校ハ縣立八校町村立二校ニシテ其ノ設備ハ大體前年記述セシ如ク漸次改善セラレツ、アルヲ以テ稍完備セルモ最近縣移管ノ學校ニ於テハ尙設備ノ急チ要スルモノ少ナカラサルノ状況ニアリ

生徒訓育ニ就キテハ其ノ施設ニ於テ各校共多少ノ差異ナキニアラサレトモ要ハ地方ニ適應スル實際農業者タル自律自治、共同心公民トシテ社會連帶觀念ノ扶植尊農勤勞奉公ノ美風質實剛健ノ精神ノ養成ニ努メ常ニ生徒ノ個性ト家庭ノ状況トナ調査シ適切ナル智識技能ヲ授ケツ、アリ修學旅行ニ關シテハ農業經濟ヲ參酌シ成ルヘク實地ヲ知ラシメ觀察力理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ智育、德育、體育ノ發達ト相俟テ一層農業ノ趣味涵養ニ努メツ、アルヲ以テ其ノ學業一般ニ良好ニ向ヒツ、アリ

入學志願者ハ縣及町村ヲ通シ千二百十一人内入學ヲ許可シタル者九百三人ニシテ之カ入學率七十五人弱ナリ卒業者ノ就職ノ状況ハ大部分實業從事者ニシテ學校職員又ハ官公吏等ニ就職シタル者アリ學校ト實業界トノ關係ニ就テハ努メテ教育ニ際シ社會化ニ勉メ可及的ニ學校ヲ開放シテ地方農業者ノ研究ニ資スヘク農事相談、各種農產物品評會ノ開催、農場見學、種苗、種豚ノ分讓講習講話會ニ講師ヲ派遣スル等農業智識ノ普及改善ヲ圖リツ、アリ

商業學校ハ從來縣立一校ナリシカ下館商業學校ノ縣移管ニ依リ二校トナリ町立二校ナリ設備ノ状況ニアリテハ逐年改善セラレツ、アルモ完備ノ域ニ達シタリト云フヲ得ス生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ノ養成ニ重キナ置キ指導獎勵ニ努メタル結果生徒ノ學業モ向上シタルモノト認メラル又入學志願者ハ本年七百四十九人ニシテ逐年增加ノ傾向ニシテ内入學ヲ許可シタル者三百六十六人ニシテ之レカ入學率四十九人強ナリ卒業者ノ就職ノ状況ニ就キテハ實業界ノ不振ニ際シテモ別ニ著シキ影響ヲ認メス孰レモ希望方面ニ就職スルコトヲ得タリ生徒ノ實習ニ於テハ學科教授ト實習トノ連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ從事スル習慣ノ養成ニ努メツ、アリ

修學旅行ニ關シテハ每年春季ニ關東、關西地方ノ地理歴史商業等ヲ観察セシメ裨益スル所尠カラス

工業學校ハ縣立一校ニシテ設備ノ状況ハ大體前年度ニ於テ記述シタルト異ナルコトナク着々器具機械等ノ充實ヲ圖リツ、アリ

生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切スル品性ノ養成ニ努メツ、アリ生徒ノ學業モ概シテ進歩向上ノ氣運ニアリ而シテ本年度ニ於ケル生徒ノ考査成績ヲ示セハ左ノ如シ

受験者總數	及第者總數	全百分率	學科總平均点
390	373	95.64	73.29

修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ル爲専ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ上級學年ニ對シテハ夏期休暇ヲ利用シ鑛山製作所其ノ他會社ニ於テ實地技術ノ練習ヲナシ多大ノ効果ヲ收メタリ又東京、仙臺、横濱、關西方面ニ旅行シ會社工場等ノ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察セシメ工業上ノ實際的智識ノ收得ニ努メタリ本年度募集人員ハ應用化學科四十五名、機械科五十名ナリシカ志願者數百九十七名ニ達シ其ノ中ヨリ選拔考査ニヨリ應用化學科四十二名、機械科四十七名ヲ入學許可シタリ學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並ニ質疑ノ外各種ノ製造註文等ニモ應シツ、アレハ斯業ノ助長ニ多大ノ效果ヲ與ヘタルモノト認ム職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ三校ニシテ之カ設備ニ就テハ前年記述セシ如クニシテ特記スヘキ事項ナキモノト認ム生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ國民道德ノ振興婦德ノ養成技能ノ發達ニ留意シ社會ノ大勢ニ鑑ミ訓育上ニ意ヲ用ヒタル結果學業モ漸次向上進歩ノ狀況ニアリ

實業補習學校

實業補習學校ハ四百九十一校ニシテ内農業四百五十三校、商業十四校、水產六校其ノ他十八校アリ而シテ大部分ハ小學校ニ附設セル季節制ニ依ルモノニ付教員ハ小學校教員ノ兼務ニ依ルモノ多數ナリ生徒ハ男二萬四千四百五十五人女九千九百七十人ニシテ之カ教育ノ普及改善ニ就テハ曩ニ補習學校實施要項ヲ制定シ女子補習機關ノ增設ヲナシ本年新ニ實業補習學校主事ヲ設ケ専ラ斯業改善進向ニ當ラシメ通年制ノ設置専任教員ノ配置ヲ獎勵シ補助規程ニ依リ毎年補助金ヲ交付シ以テ其ノ內容ノ充實ト成績ノ向上トニ努メタリ各町村ニ於テモ補習學校獎勵委員ヲ委嘱シ入學及出席ノ督勵ヲナス等適切ナル施設ヲナシツ、アリ

實業補習學校教員養成所

實業補習學校教員養成所ハ大正六年四月縣立農學校ニ加設シタル農業教員養成所ナ大正十一年三月廢止シ四月設置シタルモノナリ而シテ其ノ設備ニ就キテハ前年ト大差ナキモ尙遺憾トスル点尠カラス教員ハ專任者二人ニシテ其ノ他ハ縣立農學校及縣社會教育主事ヨリノ兼務者ナリ生徒訓育ニ關シテハ本所定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ注意シ充分長養短補ノ實ヲ舉ケ素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀念ヲ明確ニシ業務ニ通シテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツ、アルヲ以テ學業ノ成績モ亦見ルヘキモノアリ生徒實習及修學旅行ニ關シテハ諸般ノ作業ヲ實地ニ見學セシメ優良補習學校ノ視察及靜岡、三重、東京、愛知ノ縣下ニ旅行シ試驗場、學校、農場等ノ施設並ニ經營ノ狀況ヲ視察セシメ實際上ノ智識ノ啓發ニ努メタリ

入學志願者ハ本年度七十六人ニシテ内三十名ヲ擇拔入學セシメタリ

盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校私立一校ニシテ縣立盲聾啞學校ハ昭和元年九月新校舍ニ移轉シ其

ノ設備稍備ハリタルモ近年斯種教育ノ普及ニ伴ヒ校舍寄宿舍共ニ狹隘ヲ告ケ生徒教養上支障渺カラス從テ校具類ニ至リテモ尙充分ナラサルモノアルヲ以テ校舍ノ増築ト共ニ着々之カ整備ニ努メツ、アリ

私立ニ係ル土浦盲學校ハ大正十四年四月新校舍ニ移轉後諸般ノ設備ニ努メツ、アルヲ以テ漸次完備セラレツ、アリ

教員ノ需要供給其ノ他ヲ略記スルニ特殊教育ニ從事スルモノナレハ比較的養成機關不完全ナル爲有資格教員ノ採用ニ困難ヲ感シツ、アルモ異動少ナク之カ待遇ノ途モ幾分向上セラレツ、アリ生徒訓育ニ關シテハ個性調査ヲ周密ニシテ特ニ盲啞者トシテ有スル通有ノ欠陥ノ矯正ニ努メ將來有用ナル國民タラシムルコトニ努力シツ、アリ生徒卒業後ノ狀況ヲ見ルニ聾啞者ハ裁縫業、洋服業、傘職工、其ノ他ハ農事ニ從事スルモノ多ク盲者ハ教員鍼灸業ヲ營ミツ、アリ

生徒失官原因ヲ區別スレハ次ノ如シ

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等科			中等科			初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
視神經消耗症	—	—	—	1	—	1	1	1	—	1	—	—
色素性網膜炎	1	—	1	—	2	2	—	—	—	—	—	—
角膜潰瘍	—	3	3	3	—	3	2	1	3	3	1	4
強度近視	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—
トラホーム	1	—	1	1	—	1	1	—	—	1	—	—
眼球内結核	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻疹	—	2	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—
外傷	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
滲漏眼	2	—	2	2	—	2	—	—	—	—	—	—
先天性	2	—	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—
角膜實質炎	1	1	2	2	—	2	4	2	6	4	1	5
白內症	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寄生虫	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
虹膜炎	2	1	3	1	—	1	—	—	—	—	—	—
眼膜炎	1	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
計	12	7	19	15	3	18	8	3	11	7	2	9

茨城縣聾啞學校

失官原因	初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計
眼膜炎	2	—	—	2	1	—

失 宦 原 因	初 等 部			中 等 部			部 計
	男	女	計	男	女	計	
脳 打 撲	2	—	2	—	—	—	—
申 耳 炎	2	—	2	1	1	2	2
鼓 膜 破 裂	—	—	—	—	—	—	—
先 天 性	18	12	30	3	2	5	5
不 詳	3	—	3	—	—	—	—
計	27	12	39	5	3	8	8

各 種 學 校

各種學校ハ私立四十四校ニシテ前年ニ比シ七校増加セリ多クハ個人經營ニ係ルヲ以テ維持困難ナル爲其ノ設備充分ナラス然レトモ相當教員ヲ有シ教授法モ漸次改善セラレツ、アレハ入學志願者モ逐年增加スルニ至リ地方青年子女教導ニ裨益スル所歎カラス

學 校 園 及 植 栽

學校園ノ設置ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校ニ學園ヲ設置シ之カ完備ヲ督勵シツ、アリ學林ハ概ネ山間部ニ於テ設置シアリテ其ノ成績良好ナリ而シテ學園學林ノ植栽手入等ハ受持教員指導ノ許ニ生徒兒童ヲシテ直接之ニ當ラシメツ、アルヲ以テ教授上將又德育上ニ於テ其ノ効果多大ナリシヲ認ム。

教員檢定及免許狀授與

小學校教員檢定試驗ニアリテハ毎年二回無試驗ハ隨時之ヲ施行ス而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男一千四百八十八人女五百三人ニ達シ合格者男四百二十二人女百七十五人ヲ得タリ其ノ他師範學校ニ依ルモノ男百八十三人女百十人ニシテ免許狀授與總人員ハ前年ニ比シ二百五十一人ヲ增加セリ

教 科 用 圖 書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ノ狀況ハ概ネ良好ナリ

社 會 教 育

(イ) 圖書館ハ公立五十一私立三十五計八十六館ニシテ前年ニ比シ九館ヲ增設シタリ而シテ其ノ設備ハ縣立ニアリテハ諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ漸次發達シツ、アリト雖近年閱覽人ノ增加ニ伴ヒ擴闊ヲ告ケ適切ナル設備ヲ施ス能ハス其ノ他ノ圖書館ニアリテモ概シテ完全ナリト云フヲ得ス圖書冊數ハ十三萬五千七百三十三冊閱覽人員二十七萬二百五十七人ナリ巡回文庫ノ施設ヲナスモノ四館其ノ他ハ簡易圖書館ニシテ青年團ノ經營ニ係ルモノ又ハ學校ニ附設セルモノ多ク地方改善通俗教育

上 稔 益 スル所 懸 カラス

(ロ) 教育参考館ハ大正四年十一月先帝御即位ノ大禮ヲ紀念シ縣下社會教育及學校教育ノ改善ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノニシテ陳列品ハ二千九百二十七点ニシテ主タルモノハ理學、工學、歷史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ閱覽人員ハ五萬六千五百三十八人一日平均百七十八人六分團体組數百二十九組ニシテ漸次增加ノ傾向ヲ示セリ而シテ學校生徒兒童多ク其ノ他ハ各種團体一般人ニシテ成人婦人ノ來觀者多ク社會教育上多大ノ効果ヲ收メツヽアリ
教育品展覽會ニアリテハ父兄懇話會、學藝會等教育的會合ノ際生徒兒童成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縱覽ニ供シ家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ計リ稟益スル所懸カラス

(ハ) 青年團及少年團

青年團ニ就テハ時代ノ進展ト青年ノ自覺トニ依リ各市町村共之カ設置セサルモノナク男子青年團ノ數ハ三百八十四團体ニ達シ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員數五萬三千六百十人ヲ算スルニ至レリ之レカ教養指導ハ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々適切ナル施設ヲナシ殊ニ体育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就テハ尤モ力ヲ致シ青年大會、體育指導者講習會、青年幹部講習會、青年講座ヲ開催シ身體ノ鍛練ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡及町村青年團モ又前述ノ如ク各種修養施設ニ努力シツ、アリ其ノ主タルモノハ辯論會、講演講話會、中堅青年講習會、圖書文庫ノ開設、會報ノ發行、敬老會、道路修繕勤儉貯蓄ノ實行、補習教育、就學獎勵等心身ノ修養鍛練社會奉仕ノ爲メ殆ント其ノ撲チ一ニナシツ、アリ

女子青年團ニ於テハ近年大ニ發達シ其ノ數三百七十一團体ニシテ三萬二千九百六十九人ノ會員ヲ有スルニ至レリ縣聯合女子青年團ハ創立以後第二年ヲ迎ヘ着々發達シツ、アリ大會ニ續テ幹部講習會ヲ開催シ以テ斯道ノ向上ヲ期スルノ一助トセリ町村女子青年團ノ事業トシテハ男子青年團ニ及ハサルヲ遺憾トスト雖勤儉貯蓄巡回文庫ノ設置、會報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、各種講演講話會ヲナス等其ノ成績漸次良好ヲ收メツ、アリ

男女少年團ニ就テハ創立日尙淺ク未タ充分ナラスト雖銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メツ、アレハ逐年發達シ團數八十二團員男一萬六百九十八人女七千九百八十九人ヲ有スルニ至レリ之カ多クハ小學校ヲ中心トシテ設立シタルモノニシテ團員ノ年齢ハ七才ヨリ十五才迄トシ昭和三年度ノ經費ハ二千百十六圓ナリ而シテ其ノ主タル施設ヲ舉クレハ講演會、書籍ノ講讀、自習會、時ノ宣傳、交通衛生ノ宣傳、公德事業軍事的訓練等ナリ

(二) 成人教育

成人教育ニ就テハ文部省主催ノ成人教育施設ヲ縣後援シテ是レカ教育講座ヲ水戸市ニ開催セリ、講座ハ文藝及思想ノ二種トシ講師トシテハ水戸高等學校教授及女子

師範教諭等之レニ當リ一期十三回ニ亘レリ、講習員約二百名各種職業者ヲ網羅シ相當ノ成績ヲ取メタルモノト認メラル

教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下十五ノ各郡市教育會ヨリ成リ其ノ事業ノ主タルモノハ教員ノ養成、鮮滿及北樺方面ノ視察員派遣、夜間中學ノ經營、教育上諸問題又ハ教科書ノ調査編纂、機關雜誌及兒童讀物、通俗講話會又ハ名士ヲ聘シ夏季大學ヲ開催スル等一般教員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學及補習教育上裨益スル所渺カラス
又郡市教育會ハ郡内教育關係者有志ヲ以テ組織シ經費ハ基本金ノ利子、市町村費ノ補助、會員ノ貢擔、寄附金ヲ以テ之カ維持ナシツ、アリ而シテ其ノ事業ハ講習講話會、圖書館ノ施設雜誌ノ發行學事視察優良兒童ノ表彰、就學獎勵、教員ノ養成等ニシテ地方教育上貢獻シツ、アリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ社團法人八、財團法人十計十八ナリ

青 年 訓 練 所

青年訓練所ハ大正十五年七月一日ヲ以テ縣下一市三百八十ヶ町村一齊ニ開設セラレ現在設置數公立三百九十八所、私立三所ナリ而シテ實業補習學校ヲ充當ニ就テハ青年訓練所令ノ本旨ニ稽ヘ全縣下ニ創設ヲ獎勵スルト共ニ之カ實施ニ當リテハ補習學校トノ連携ヲ十分ニ保ツ必要アルヲ以テ孰レモ實業補習學校ニ併置シ其ノ校職員ヲ指導員ニ嘱託シ一町村一訓練所ヲ本體トシ訓練ノ統一ヲ期シタリ現在ニ於テハ青年訓練所規程第六條ニ依リ公立實業補習學校ヲ充用シタルモノナク又私立訓練所ハ三所ニシテ孰レモ其ノ工場ニ雇傭セルモノヲ收容シ居ルカ故ニ入所出席共ニ其ノ歩合良好ニテ訓練ノ實蹟モ亦優良ナリ

訓練ノ狀況ニ就テハ學科ハ學校職員、教練ハ在鄉軍人タル指導員之レヲ擔當シ漸次銃器ヲ購入スル傾キアリ其ノ經營ニ關シテハ苦心ノ跡著シキモノアリ就中各郡ヲ數部ニ分ナ聯合演習會ヲ催スモノ多ク、中ニハ一郡合同ノ大計畫ヲ遂ケタルモノアリ之レカ斯道振興上好影響ヲ及ボセルコト論ヲ俟タス出席獎勵ニ就テハ可成年申持續的ニ訓練ヲ施ス様教育ノ豫定ヲ立案シ農繁期ト雖一週間ニ亘ノ召集訓練ヲ實施スル様勵勵シ目下ノ狀況ハ學科ハ夜間ニ教練ハ通年的ニ晝間實施シアリ入所及退所ノ狀況ハ良好ナル成績ヲ示シ教練查閱ノ結果ハ其ノ成績亦大ニ良好ナルヲ認メラル

學事ニ關スル講習及旅行

(イ) 教員講習ハ縣及市郡教育會主催ニテ十七回開催シ講習日數百七十六日人員三千八十四人ニシテ各科ニ就テ實際的研究ヲナサシメタルヲ以テ孰レモ相當ノ効果ヲ取メタルモノト認ム

(口) 學校長教員保姆ノ學事研究並視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就テハ其ノ教授ノ徹底ヲ期スル爲經費ノ許ス限リ努メテ各科教授研究又ハ管内外ノ學校ニ出張シ經營施設ノ狀況並教授訓育ノ實際等ノ視察ナシタルヲ以テ相當其ノ實益ヲ收メ得タルモノト認メラル旅行調次表ノ如シ

		市町村立小學校	師範學校	公中學立校	公立高等女學校	公立實業學校	公立補習學校	農業補習學校教員養成所	盲學校	聾啞學校	公幼稚園
内 県	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村會育會會員合計	30,810	370	1,557	1,159	1,564	1,378	22	30
地 内	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村會育會會員合計	10,949	323	256	338	592	453	146	150
地 外	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村會育會會員合計	12,983	668	2,312	1,993	2,003	816	—	—
樺 太	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村會育會會員合計	90	—	—	—	—	—	—	—
朝 鮮	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村會育會會員合計	610	—	—	—	—	—	—	—
三 樺 太	人 日	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費	員數費費費費費費
	管	縣市町教育部後援組	村	110	—	—	—	—	—	—	—

	市町村立 小學校	師範學校	公中學 立校	公立高等 女學校	公立實業 學校	公立實業 補習學校	農業補習 學校員養成所	盲學校	聾啞學校	公幼稚園			
縣 権 管 内 太	旅費總額	教育會費 教員修養費 學校員後援會費 教育費計	60 — — 170	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —			
縣 権 管 内 外 州	人日	縣朝鮮管 旅費總額	員數 費 費 費 計	1 23 — 53 110 — 163	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —			
縣 権 管 内 外 太	人日	縣市町管 旅費總額	員數 費 費 費 計	5 66 — 127 160 — 287	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —			
計	人日	旅費總額	員數 費 費 費 計	4,204 20,531 — 635 51,468 3,648 43 238 30 — — 56,062	61 304 1,361 — — — — — — — — 1,361	128 719 3,504 — — — — — — — — 4,125	114 805 2,674 254 259 728 — — — — — 3,400	157 804 3,011 — — — — — — — 4,159	207 836 — — 2,640 127 — — — — — 2,767	— — — — — — — — — — — —	4 17 — 163 — — — — — — — 168	3 20 — 180 — — — — — — — 180	18 63 — — — — — — — — — 236

學 校 衛 生

1. 學校醫ノ設置シアル公立學校ニ就キ種類別スレハ小學校五百七校、師範學校二校、中學校九校、高等女學校十四校、實業學校(甲乙)十六校、實業補習學校五校、盲學校一校、聾啞學校一校、合計五百五十九校ニシテ兼務者多々之カ實人員ハ三百四十五人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ定期検査ノ外「トラホーム」ノ検診治療寄生虫及頭虱ノ驅除、口腔衛生ノ實施ニ盡力スト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツ、アルヲ以テ前年ニ比シ稍良好ノ成績ヲ挙ケタリ尙飲料水寄宿舎等ニ付テハ特ニ注意シ専ラ生徒兒童ノ保健ニ努メツ、アリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙不充分ノ点アルヲ以テ一層之力改善進歩ニ努メントス

學校醫ノ實人員ヲ資格別ニ區別スレハ次ノ如シ

一、帝國大學醫科大學醫學科卒業者

九人

二、官立醫學專門學校醫科及元高等學校

三人

並高等中學校醫學部選科卒業者

三、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者

百二十三人

四、大阪府京都府愛知縣醫學校及府縣立甲種醫學校卒業者

十七人

五、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了者 三人
六、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者 百九十八人
計 三百四十五人

2、學校看護婦ニ付テハ未タ設置ノ學校ヲ見サルモ最近コトニ其ノ必要ヲ認メ自治的ニ之カ豫算ヲ計上セムトスルモノアルニ至レリ

3、衛生設備、教授衛生、體育運動ニ關スル狀況

(イ)衛生設備ニ就テハ先ツ校地ノ選定及校舍建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ケ其ノ他屋外體操場、便所、水浴場、井戸、寄宿舎、教具等ノ改善ニ留意シツ、アリ

(ロ)教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法、學級人員、授業時間後ノ休息、睡眠時間等ニ留意シ尙毎學期一回以上ノ座席交換、最前列兒童ト教壇トノ巨離、季節的時間割ノ變化、劣等兒教育、病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努力シツ、アリ

(ハ)體育運動ノ振興ニ關シテハ漸次其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之レカ實現化セラレムトシテアリテ相當運動獎勵ニ努力スルト同時ニ之レカ結果ノ惡影響ヲ少ナカラシムル様留意セラレツ、アルノ狀況ナリ

4、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關スル狀況

(イ)職員疾病ニ依リ退職休職死亡者ハ次ノ通りニシテ概シテ少ナク良好ノ成績ヲ擧ケツ、アリ

	退職者	休職者	死亡者	
小學校職員	34	22		17
中等學校職員	7	—		5
計	41	22		22

(ロ)生徒兒童ノ健康狀態ハ優良ナラサルモ其ノ主ナル病類別ヲ見レハ齶齒、トラホーム、寄生虫、扁桃線肥大、脊柱後屈等ニシテ校醫モ之レカ豫防及加療ニ付相當盡力セラレツ、アリ

5、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸鄉治療ヲ命スル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

6、學校給食ニ關シテハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校アリ

縣會及市町村會

縣市町村會ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ協賛ヲ與ヘ漫リニ削減ヲ加フルコトナク穩當ノ決議ヲナスノ狀況ニアリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官一人、地方事務官一人、學校衛生技師一人、社會教育主事一人、社會教育主事補一人、實業補習學校主事一人、視學七人、屬十人、嘱託一人、市ニアリテハ主事一人、視學一人、書記一人ナリ。

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長、視學ハ專ラ學校設備教授訓練養護ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補ハ專ラ青年訓練、青年團、處女會ノ經營狀況ヲ視察シ、實業補習學校主事ハ補習教育ニ關シ、學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關シ視察セリ而シテ小學校ニ就テハ詳密視察、概要視察ノ外教授ニ亘リテ視學合同視察ヲ行ヒテ徹底的ニ視察ヲナシタリ又各市町村ニ於テハ三名乃至八名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シ市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當活動見ルヘキモノアリ。

學 事 奨 勵

學事獎勵ニアリテハ前年來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校、實科高等女學校教育會、青年會、育才會等ニ對スル補助金ノ交付小學校教員住宅設備費、研究費、社會事業ノ補助獎勵ヲナシ又教育功勞者及優良ナル學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困ノ爲メ就學シ得サル兒童ノ保護救濟サヌ等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ。

將來學事施設上須要ノ件

- 一、學校ノ設備ノ改善並ニ內容ノ充實ヲ圖ルコト
- 一、就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全カラシメ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- 一、時代ノ趨勢ニ鑑ミ道德教育ノ向上ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- 一、高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任制ヲ加味シ內容ノ改善充實ヲ期スルコト
- 一、師範教育ノ改正ニ伴フ設備內容ノ充實ヲ期スルコト
- 一、中等教育機關ヲ增設シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- 一、教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト
- 一、通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ専任教員ノ増加ヲ圖リ又季節制ノ長所ヲ益々發揮セシムルコト
- 一、補習學校教員養成所機關ヲ整備スルコト
- 一、青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト
- 一、女子青年團ノ振作發達ヲ圖ルコト
- 一、成人教育、公民教育ノ振興發達ヲ期スルコト
- 一、各種教化團體ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自治ヲ期スルコト

公學費及公學資產

昭和三年度ニ於クル公學費總額ハ八百九十三萬八千五百七十四圓ニシテ內縣經濟ニ

屬スルモノ百七十四萬五千三百九十七圓、市經濟ニ屬スルモノ二十二萬七千三百七十五圓、町村經濟ニ屬スルモノ六百九十六萬五千八百二圓ニシテ前年ニ比スレハ總額ニ於テ八十六萬九千九百八十三圓乃チ一割七厘ノ増加ヲ示セリ其ノ增減ヲ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費 支 出 額		前年ニ比シ 増	減
	前 年 度	本 年 度		
合計	1,639,815 183,611 6,253,165 8,076,591	1,745,022 227,375 6,965,802 8,938,574	105,582 43,764 712,637 861,983	— — — —

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費 支 出 額		前年ニ比シ 増	減
	前 年 度	本 年 度		
師範學校	5,503,816 393,494 462,362 324,525 773,825	6,276,022 349,675 596,191 338,891 750,267	772,206 — 133,829 14,366 —	43,819 — — — 23,558
職業補習學校教員養成所	12,226 7,820 5,884 14,893 2,821	11,156 21,716 7,393 18,108 2,274	— 13,896 1,509 3,215 —	1,070 — — — 47
啞啞書館	165,130 410,295	179,505 387,376	14,375 —	— 22,919
青年訓練所他	8,076,591	8,938,574	861,983	—

而シテ増減ノ主タル理由ハ師範學校ニ於テハ前年増築アリタルニ依ルモノニシテ實業學校ニ於テハ前年、町村立ヨリ縣立ニ移管セルモノ資格ノ昇格學校アリタルニ本年ナカリシ爲減シタルモ小學校ニ於テハ學齡兒童ノ増加ニ伴ヒ自然増加シタルト中學校ニ於テ縣立學校ノ増設ニ依ル器具器械ノ充實、盲學校ノ増築、青年訓練所ノ內容充實等ノ爲支出多カリシ結果ニ因ル

公學費收入總額ハ三百八萬三千八百四十九圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ六十五萬八千四十二圓、市經濟ニ屬スルモノ八萬二千八百七十六圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百三十四萬二千九百三十一圓ニシテ前年度ニ比シ十萬五千二百八十五圓乃チ〇割三分五厘ノ増加ヲ示セリ之レカ主タル原因ハ生徒兒童ノ増加ニ伴フ授業料ノ結果ニシテ其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ

	公 學 費 收 入 額		前年ニ比シ 増	減
	前 年 度	本 年 度		
合計	654,987 70,729 2,252,848 2,978,564	658,042 82,876 2,342,931 3,083,849	3,055 12,147 90,083 105,285	— — — —

學校基本財產ハ現金預金及有價證券ニ於テ市ハ九千三百八十三圓、町村ハ八十一萬五十五圓、計八十一萬九千四百三十八圓、土地、町村ノミニシテ二百一萬五千五百六十一坪ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ金額一萬六千七百八十圓、土地坪數ニ於テ八千五百九坪ヲ減シタリ又積立金ハ市町村ノ十四萬二千四百七十四圓ニシテ前年度ニ比シ五萬八千五十四圓ヲ減シタリ而シテ之等金額ノ管理ニ關シテハ郵便銀行貯金ニ依ルモノ多ク有價證券之ニ次キ何レモ確實ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中、田畠ハ貸付、森林其ノ他ニ於テハ植樹ヲ爲ス等將來收益ノ途ヲ講シツ、アリ
基本財產金額及積立金ノ減シタルハ校舎建築ノ爲繰入充當シタル町村アリタルニ依ル

教育資金

本年度小學校設備費トシテ貸付シタル金額ハ四萬七千圓、教育獎勵其ノ他普及改善ニ支出シタル普通教育獎勵金ハ七千四十八圓、小學校教員疾病療治料一千百八十圓、計五萬五千二百二十八圓ニシテ本年度戻入タル金額ハ四萬三千四百七十圓ナリ而シテ年度未現在貸付金額ハ十六萬三百五圓ナリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

學事獎勵ノ爲獎學資金ヨリ本年度ニ於テ支出シタル金額ハ六百三十四圓ニシテ縣立學校優良生徒ナ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ、年度末現在高ハ七千三百十七圓八十四錢八厘ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年御下賜アラセラレタル資金二万三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ニ對シ縣ニ於テハ毎年相當金額ヲ資金ニ編入シ尙之ヨリ生スル收入ヲ以テ本年度ニ於テ三千六百五十六圓ヲ支出シ貧困兒童獎勵金ヲ交付セリ、年度内ニ於ケル市町村貧困兒童獎勵ノ狀況ヲ示セハ次表ノ如シ

市町村兒童就學獎勵費給與狀況

種別	受給人員			支給金額
	男	女	計	
教學被服	93 916 106 672 2	77 966 95 521 2	170 1,882 201 1,193 4	18 2,32 27 2,04 29
教科書及學用活	品費			
被食現	10 4 6 27 計	16 4 4 29 1,836	26 8 10 56 1,714	12 2 9 25 5,350

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ニ對シ縣ニ於テ相當金額ヲ資金ニ編入シ之ヨリ生スル收入ヲ以テ本年度ニ於テ七百十八圓ヲ支出シ男

女青年幹部講習會、講演會等ヲ開催之レカ指導獎勵ニ努メタリ
市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十萬三千五百三十二圓十九錢ニシテ年功加俸支給金額九萬六千七百四十圓、特別加俸五千百七十六圓九十三錢、恩給基金納金九百八十八圓六十九錢ニシテ其ノ差額六百二十六圓五十七錢ヲ翌年度ニ繰越シ銀行ニ預金シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額五萬三千六百九十五圓十八錢、年功加俸支給金額ハ五萬千百七十九圓九十七錢ニシテ國庫納金四百四十九圓五十四錢、恩給基金納金六十八圓四十五錢ナリ而シテ其ノ差額千九百九十七圓二十二錢ハ翌年度ニ繰越シ預金シタリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ百八十八萬四千二百八十四圓七十一錢ニシテ其ノ大部分ハ教員俸給及住民負擔ノ輕減ニ充當シタルヲ以テ市町村經濟ヲ幾分緩和スルニ至リタルモノト認メラレ之カ支途金額ヲ區別シタル前年度總額ニ比スレハ六萬八千八百八十圓十八錢ノ増加ナリ支途ニ依リ種別スレハ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員俸給ニ充當シタル金額	35,326	255,872	713,426	1,004,624
教員増俸ニ充當シタル金額	—	17,999	47,222	65,221
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	44,483	113,035	157,518
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	103,469	485,547	589,016
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	24,900	43,004	67,904
計	35,326	446,723	1,402,234	1,884,283

公學費及公學資產增減理由

縣本年度支出總額ハ百七十四萬五千三百九十七圓ニシテ前年ニ比シ十萬五千五百八十二圓ヲ增加シタルハ教員ノ俸給、器具費、消耗品費、新營費ノ增加ニ因ルモノニシテ其ノ主タル增加ハ日立中學校、境中學校、麻生中學校、太田高等女學校、下館商業學校等ノ生徒增加ニ伴フ校舍ノ新築増築及諸設備ノ支出多カリシニ依ル又收入總額ハ六十五萬八千四十二圓ニシテ前年ニ比シ三千五十五圓ノ增加ヲ示シタルハ生徒増加ニ依リ授業料ノ徵收多カリシニ因ル土地ハ敷地三十二萬六千六十九坪附屬地八萬六千五百八十一坪建物ハ教場一萬千八百三十九坪其ノ他二萬七千五百二十五坪ニシテ前年ニ比シ敷地七萬三千九百九十六坪附屬地二千八百五十坪建物ハ教場五百五十四坪其ノ他千六百六十坪及土地價額乃至器具價額ニ於テハ十七萬七千九百

七十六圓ノ増加ヲ見タルハ校舎ノ増改築シタルト其ノ他設備ノ改善施設ニ努メタル爲ナリ

市本年度支出總額ハ二十二萬七千三百七十五圓ニシテ前年度ニ比シ四萬三千七百六十四圓ノ増加シタルハ主トシテ教員ノ俸給、圖書、器械標本費、器具費、消耗品費、新營費ノ支出多カリシニ依ル收入總額ハ八萬二千八百七十六圓ニシテ前年ニ比シ一萬二千百四十七圓ヲ増加シタルハ授業料、寄附金、雜收入ノ多カリシニ依ルモノナリ又公學資產土地ハ敷地二萬一千九百二十三坪建物坪數教場四千八十四坪其ノ他千三百十坪ニシテ前年ニ比シ敷地千二百坪教場百七十三坪其ノ他四十三坪ヲ増加シタリ從ツテ土地價額乃至器具價額ニ於テ一萬七千四百四十八圓ヲ増加シタリ

町村本年度支出總額ハ六百九十六萬五千八百二圓ニシテ前年度ニ比シ七十一萬二千六百三十七圓ヲ増加シタリ其ノ主タルモノハ教員ノ俸給青年訓練所指導員手當雜給、學生生徒兒童給費ノ多カリシニ因ル收入總額ハ二百三十四萬二千九百三十一圓ニシテ前年ニ比シ九萬八十三圓ヲ増加シタルハ國庫補助、寄附金、其ノ他資金ヨリ生スル收入多カリシ結果ニ依ル又公學資產土地坪數、敷地百一萬二千七百八十五坪附屬地六萬一千六百五坪、建物坪數教場十二萬一千四百六十六坪、其他五萬八千七百三十九坪ニシテ前年度ニ比スレハ敷地四萬七千六百八十坪ヲ增シタルモ附屬地ニ於テ二千二百二十九坪ヲ減シ建物坪數教場ニ於テ九千二百九十五坪ヲ増加シタルモ其ノ他ニ於テ四萬四千七百十五坪ヲ減シタリ又土地價額乃至器具價額ニ於テ百四十四萬三千四百九十五圓ヲ増シタルハ兒童生徒ノ增加ニ伴フ校舎増改築ト設備ノ改善施設ニ努メタル結果ニ依ル